

マツダ・ロードスター No.17
チューニング&ドレスアップ徹底ガイド

**HYPER
REV**

ニューズムック
[ハイパーレブ]
車種別チューニング&
ドレスアップ徹底ガイドシリーズ

2026年8月12日発行

vol.295

ROADSTER

No.17

ND/NC/NB/NA 歴代オーナーに贈る

走る 魅せる いたわる
アップデート教本

TEST &
REVIEW

つくり込みがもたらす各車の味わい
デモカー試乗レポート

注目アイテムの効力を探る

ルックスと機能を高める有効手段

エアロパーツ
最前線

フォルムのカナメ
高性能を走りに活かせ!

SPORTS WHEEL
GALLERY

掲載
アイテム

2400

NA NB NC ND
歴代モデル完全網羅

点オーバー

チューニング&ドレスアップ

パーツカタログ

全国ショップガイド

HYPER REV SELECTION
注目アイテム
情報局!

タイトなコクピットにも対応可能 ロードスターの走りをも磨く高性能シート!

BRIDE

[ブリッド]

☎ブリッド ☎052-689-2611 <https://brideseats.com/>

ZETA IV NUGRAIN

[ジータ4 ヌグレ]

ジータ4シリーズの新作は
高級感溢れる
ヌグレの採用が決定!

発売時期
今夏
発売予定
(価格未定)

シットリとした風合いを持つヌグレはシックなチャコールグレーのカラーも魅力。表皮に採用されたヌグレは汚れが付きにくく、万が一の場合にもメンテナンスが容易という優れた素材なのだ。

グレーのステッチを採用している現行NDロードスターのインテリアに良くマッチしているのが現在開発の最終段階に入っている「ジータ4ヌグレ」。このモデルはブリッドが誇る「ジータ4(クラシック)」をベースとし、しっとり感とさらっとした質感を兼ね備えた高触感素材「NUGRAIN®(ヌグレ)」のシートトリムを採用した期待のニューアイテムだ。

ヌグレという素材はヌバックのような触感を再現した本革に極めて近い風合いを特徴としながら、防汚性やメンテナンス性が高いという自動車用シート表皮として優れた特性を備えている。シックで落ち着いた色調と、新たにデザインされたステッチワークによるワンランク上の高級感や優雅さも大きな魅力。写真ではFRP製シェルとなっているが、発売時にはカーボン製となる予定だ。

軽量コンパクトなFRマシンであるロードスターの魅力といえば、なんといっても走りの良さだろう。ところがノーマルシートは非常に貧弱だと言わざるを得ないものとなっており、サーキットはもちろんのことワインディングでもホールド不足を感じずにはいられない。

そんなワケでロードスターチューニングの第一歩として大人気となっているのがシート交換なのだ。が、ご存知の通りロードスターのコクピットは非常にタイトなため装着できるシートが限定されてしまうのだ。

開発の大田さんによるとロードスターのユーザーにはコンパクトなヘッドガードを採用したゼロV5プラス、フルバケットシートの定番であるジータIVヌグレ、女性や小柄なドライバーにはジータIVヴェリアなどがオススメです。もちろん、これらすべてのシートはブリッドが誇る専用シートレールと組み合わせた座席状態で強度試験を実施されており、保安基準に適合している。ストリートでも安心して使うことができる。加えてドライビングポジションにも徹底的にこだわっている。自然でスムーズなシフトやペダル操作が可能となっているのも見逃せないポイントだろう。

ロードスターの走りを強力にサポートしてくれるブリッド製のバケットシート。あなたはどのアイテムが気になるかな?

XERO VS PLUS

[ゼロ VS プラス]

価格：14万9600円～22万2200円

- シェル FRP/スーパーアラミド製ブラックシェル
- COLOR ブラック/グラデーションロゴ/レッド
- SPEC 保安基準適合/FIA規格取得

ロードスターにも対応可能な サーキット直系の高性能シート

純レース用シート開発のノウハウを凝縮して生まれたのがXERO(ゼロ)シリーズだが、そのシリーズ内で最もコンパクトなヘッドガードを採用して大人気となっていたゼロVSをベースにヘッドガードの外側や背面も生地で覆うなどの進化を遂げたのがゼロVSプラス。タイトなコクピットのNDロードスターでもルーフなどに干渉することなく装着が可能となっているのだ。

ホールド性の高さはもちろんのこと、導電性表皮材「カブロンST®」を採用することによってドライバーと周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電量を軽減、操縦安定性の向上と快適なドライビングを可能にしてくれるというのも見逃せないだろう。



シリーズ中、最もコンパクトなヘッドガードを持っているVSプラスがロードスターにもしっかり対応。XERO RSプラス/XERO CSプラスはヘッドガード部が干渉してしまうので注意が必要だ。



通常モデルと以前ラインアップされていたジグワイドの中間くらいの幅になる予定というニューモデル。専用のレールが必要だったジグワイドとは違い、シェルの形状を見直すことで標準のシートレールに装着できるよう設計されている。強度確保のためにカーボンシェルのみがラインアップされる予定。



腿部のサポートが低めなのでステアリングとの間隔が広くなり乗降性がアップ。ロードスターのオーナーにとって嬉しいポイントではないだろうか。



前端部分を斜めにカットしてシートを前にスライドしてもセンタートンネルの干渉を低減できるように配慮されている。こういった部分は長年スポーツシートを作り続けているブリッドならではの心遣いだ。



※写真は試作品のため、製品とは細部が異なる場合があります。

ZETA IV NURMAN

[ジータIV ニュルマン]

ホールド性に加えて
優れた乗降性も両立
少しだけワイドの新作が
間もなく登場!

発売時期
今夏
発売予定
(価格未定)

すべてのひとに最適なシートを提供することを目指しているブリッドだが、現在開発の最終段階に入っているのが標準のジータ4とジグワイドの中間くらいの幅になる「ジータIVニュルマン」というニューモデル。腰まわりの横幅を少しだけサイズアップしたゆったり感はホールド性と快適性の両立に成功しており、普段は街乗りがメインで年に何回かサーキットを楽しんでいるなんていうひとにはうってつけだろう。

さらに腿部のサポートを低く抑えることで優れた乗降性を確保しているのも特長のひとつ。これはロードスターのようなタイトなコクピットの車両にとって見逃せないポイントといえるだろう。

ZETA IV VERIA

[ジータ4 ヴェリア]

価格：16万600円

ブリッドが誇るフルバケットシートの人気モデルZETA IVをベースとして身体の小さい女性や、身長160cm以下のスリムなドライバーに向けたチューニングを施したスモールチューニングモデル。シェル本体はジータ4と共通ながら標準モデルに比べて脇腹や太腿部分のサイドサポートを約30mmほどタイト化、座面底部には約15mmの高硬度ウレタンが接着されており、さらに座面シートクッションも通常に加えて取り外し可能な約15mmのウレタンが内蔵されており、最大で約30mmの座面アップが可能となっているのだ。

写真のピンクロゴのヴェリアとホワイト&グレーロゴを採用したヴェリオの2種類がラインアップされている。



- シェル FRP
- COLOR ブラック
- SPEC 保安基準適合 FIA規格取得

小柄なドライバーもしっかりとホールド
注目のスモールチューニングモデル!



マルチキaster PRO

価格：5万9400円(予価)

シート交換によって使わなくなってしまったノーマルシートを持て余しているひとも多いはず。そんな時に注目したいのがマルチキaster PROだ。

もともとはブリッド製シートにアームレスト付きのキasterと組み合わせることでオシャレで快適なホームチェアにすることができるといってアイテムだったが、ロードスターなど人気車種の純正シートを組み合わせることができるモデルも用意されている。座面の高さも調節可能となっている。今まで邪魔だった取り外した純正シートの有効活用にも最適じゃないかな?